

人 ピープル



冬季国体ポスターの原画に採用
齋木 英志さん(20) 朝倉町

色の使い方に自信はあったけれど

来年一月、本市などで開催される「国民体育大会冬季大会」の公式ポスター原画募集で、最優秀作品に選ば

れた。「学校に連絡が入り、先生から結果を聞いたのですが、本当にびっくり

りました。これまでも、この国体のシンボルマーク募集など、いろいろ応募してきましたが、大きな賞は初めてなんです」
齋木さんの原画を基に作られたポスターは各都道府県へ配布され、揭示される。
「スピードスケートとアイスホッケーの選手の姿をコンピューターグラフィックで表現しました。冬の感じやスピード感を出したくて、青や紫の色を多く使ったんです。四時間くらいで仕上げました。色使いには自信があったけれど、まさか全国に張られるようになるなんて。自分の作品でいいのかなあと思います」
現在、市内専門学校校の二年生。グラフィックデザインコースを専攻している。小さいころから絵を描くこ

とが、とても好きだったという。「高校生の時からコンピューターを使った画像作りを始めました。手で描くよりも、自分の思った狙いがはつきりと出せるから、パソコンでいろいろデザインします。家に帰ってから、画面に向かうことが多いですね。気が付くと、夜中になってしまつこともあるんです」
学校は夏休みに入ったが、就職活動は今が真っ最中だ。
「やはり、デザインや出版関係の仕事に就きたいですね。できるならデザイナーになって、活躍したいなあ」
夢と希望がいっぱいの二十歳。やりたいことがたくさんあるに違いない。それを実現させるため、努力を重ねて着実に歩んでいってほしい。

学校つうじん 親子で 英語に親しむ



新田小学校

新田小で七月二十二日から二十四日までの三日間、親子で英語に親しむ教室が開催されました。講師は本市の外国語指導助手(A・L・T)。今回は四人が指導に当たりました。参加者は、三年生以下の児童とその親三十九組。特に一年生の参加が目立ちました。
講師は、ゲームを通して英語に親しんでもらおうと、工夫を凝らし、



身振り手振りで表情豊かに指導。どの教室からも笑い声が絶えませんが、親子が楽しみながら、英語に触れた三日間でした。

Pick up ぴっくあつぷ

汗にまみれて収穫体験

J A前橋市本所で七月二十三日、親子収穫体験が行われました。農作物の収穫を通して、食料の大切さを知ってもらうことが目的。十四組四十人の親子が参加しました。野菜集配センターなどを見学後、農園へ向かいます。まぶしい夏の日差し



の下、参加者は汗と土にまみれてトウモロコシや枝豆などを収穫。両手に持ちきれないほどの農作物に、とても満足そうでした。